

【小学校国語】

小学校
国語

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度である。
- 「言語事項」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「言語事項」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

※ いずれの領域においても、記述式の問題における無解答が全国平均より、やや多くなっている。

今回の調査における課題

- 相手や目的に応じ、考えや意図が分かるように話したり、話の中心や内容に気を付けて聞いたりすること。
- 事象と感想・意見を区別し、目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりすること。
- 文章や資料を関連付けて読み取ったり、展開に即して内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。
- 漢字など、言語に関する知識を深め、適切に書いたり、活用したりすること。

改善の方向

- 相手や目的に応じて適切に話したり、目標を明確にして要点を簡潔にとらえながら聞いたりする指導の充実。
- 書く目的や意図を明確にし、自分の考えをまとめたり、文章を的確に要約したりする指導の充実。
- 資料と関連付けながら文章を読み取ったり、叙述や構成に着目して、内容を押さえながら要旨をとらえたりする指導の充実。
- 文脈に沿って漢字を活用したり、言葉に対する知識を定着させたりするための言語活動の充実。

分類	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	書くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	読むこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	言語事項	ほぼ同程度	ほぼ同程度
問題形式	選択式	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	短答式	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	記述式		ほぼ同程度

※ 「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。